

令和4年度
社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会
事業報告書



泉大津市社会福祉協議会イメージキャラクター

ハートちゃん

社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会

令和4年度 社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会事業報告

令和4年度は、令和元年度から続く新型コロナウイルス感染症の第7波・第8波に見舞われ、感染者数も過去最高を記録するなど、増加の一途を辿りました。また、エネルギー価格の高騰や円安の進行は、物価の高騰を加速させ、市民生活や社会経済活動にも大きな影響を及ぼしました。

このような中、本協議会では、新型コロナウイルス感染症の感染対策を施すとともに、感染拡大の動向を見定めながら、地区福祉委員会を中心に行っている「いきいきサロン」、「子育て支援」、「世代間交流」に取り組むとともに、地区全体事業の活動の実施を積極的に推進しました。また、「ウィズコロナ、ポストコロナに対応した地域活動モデルの開発」をテーマとした大阪府福祉基金地域福祉振興助成金を活用し、「人と人とをつなぐどこでもコミュニティ事業」を昨年度に引き続き実施しました。コロナ禍でも人と人とのつながりを大切に、つながり続けることを目的に子どもから高齢者、障がい者などに対して、野外でのつどいの場づくりを支援し、ラジオ体操などの活動につなげることで、交流活動の普及啓発に努めました。

また、令和3年7月から始まった、特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を終了した世帯や再貸付の不承認とされた世帯等を対象に実施してきた新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業は、令和4年12月末をもって終了となりましたが、長期失業者や非正規雇用者の増加など様々な状況により、引き続き支援が必要な生活困窮世帯に対して、償還猶予に係る相談・面談や償還免除申請に未応答の借受人への対応などのフォローアップ事業を開始しました。

その他の取組として、フードドライブ事業においては、生活困窮者世帯や福祉団体に加え、こども食堂実施団体の活動も徐々に再開したことを受け、支援が必要な方に多くの食材を提供することができました。また、国内外で災害が多発していることを受けて、泉大津ライオンズクラブ、いずみそれいゆライオンズクラブ及び大阪いずみ市民生活協同組合と災害に関する協定を締結し、災害時の体制強化と整備に力を入れるとともに、災害ボランティアセンター事業の充実を図るために講習会の実施や登録者の獲得に向けた取組を進めました。

その他、重点目標の取組については、次のとおりです。

<重点目標の取組事項> ~各重点目標は活動計画の一部を引用~

1. 福祉意識の向上

地域住民、学校、就学前施設などとの連携により、福祉の理解やノーマライゼーションが浸透できるような、福祉教育の推進に努めるとともに、地域での交流活動に取り組みました。

(1) 地域共生社会の推進に向けたフォーラムや講座の開催

① 認知症カフェ

認知症の人、その家族、地域の人が気軽に認知症について相談でき、交流、情報交換ができる集いの場を提供

場所	実施回数等
風 街	10回（毎月第4水曜日） ※うち2回（5、10月）はオープンカフェとして開催。
紅琲院ハマダ	12回（毎月第3水曜日）



② 医師会と連携した研修会・会議の実施

医療と介護の連携の推進に取り組むため、医師会や福祉施設などと連携した研修会・会議の実施

ア 会議等

- ・イカスミ（医療介護地域推進ネット）会議（4回開催）
- ・地域医療ケア検討会 ※内容見直しのため休止
- ・在宅医療推進協議会（2回開催）
- ・在宅医療・介護連携コーディネーター広域会議（2回開催）
- ・在宅医療・介護連携相談窓口（対応件数 27 件）
- ・看護師交流会（看看連携）※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

イ 在宅医療・介護連携の推進事業研修会等

- ・iZak 研修会（2回開催）
- ・イカロスネット研修会（3回開催）
- ・在宅医療フォーラム
- ・大阪府在宅医療普及促進事業

(2) 学校や地域への福祉教育の推進

① 春休みボランティア活動体験学習会

ボランティア活動につながるきっかけづくりとして、幼稚園児・小学生・中学生を対象に障がいの理解とともにボランティア活動を体験する機会の提供

(内 容)

車いす体験とアイマスク体験	マスコット作りをしてみよう	点字体験「点字でメッセージを打ってみよう」
紙芝居を演じてみよう	手話を体験してみよう	

(延人数 38 人)

② 小学校等での福祉学習指導等

小学校等において手話や点字を学習する機会をボランティア連絡会の協力のもとで実施

- ア 点字学習 (条南小学校) : 1 回
- イ 手話学習 (上條小学校、条南小学校) : 各 1 回
- ウ 車椅子学習 (条南小学校) : 1 回
- エ アイマスク体験 (大阪健康ほいく専門学校) : 1 回
- オ 紙芝居体験 (条南小学校) : 1 回



③ 世代間交流活動・福祉のつどいの実施

小地域ネットワーク活動のグループ援助活動において、地域の子どもから高齢者まで世代間での交流活動や地域住民が集えて学習できる福祉のつどいを実施

ア 世代間交流

旭地区	3 回	68 人
条南地区	2 回	38 人
浜地区	2 回	49 人
合 計	7 回	155 人



イ 福祉のつどい

- ・ 楠地区 ……くすのき福祉のつどい (講演、アトラクション)
- ・ 浜地区 ……元気ハツラツスクール (講演、体操)
- ・ 宇多地区 ……宇多地区福祉のつどい (講演、アトラクション)

2. ボランティア及び市民活動の育成

市民活動支援センターと連携し、ボランティアセンター機能の一層の充実を図るとともに、社協広報紙やホームページ、社協掲示板などを通じて、様々なボランティア情報の周知・啓発に努めました。

(1) ボランティア体験プログラムの充実

福祉活動のきっかけづくりのため様々な団体と連携してボランティア体験プログラムや体験学習を充実

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

(2) ボランティアサロンなど活動の場の充実

ボランティア連絡会や登録ボランティアグループ等の連携によるボランティアサロンなど活動の場の充実

① ボランティアサロン「ハートちゃん」

- ・実施日 4/26、5/24、6/28、7/26、8/23、9/27、10/25
11/22、12/27、1/24、2/28、3/28
- ・場 所 総合福祉センター4階ボランティアルーム
- ・内 容 レクリエーション、小物づくり
- ・利用者数 81人



② ボランティアサロン（ふれあい風街）

- ・実施日 4/20、5/18、6/15、6/29、7/20、8/17、9/21、10/19、11/16、
11/30、12/21、1/18、2/15、3/15、3/29
- ・場 所 中央商店街 風街
- ・利用者数 92人

3. 小地域ネットワーク活動の推進

近所づきあいやつながりを強化していくことは、孤立死や虐待などの防止につながるなど、非常に重要であることから、顔の見える機会を作るなど、身近な地域でのつながり強化に取り組みました。

(1) 小地域ネットワーク活動地区推進會

① 小地域ネットワーク活動宇多地区推進會（3回開催）

（協議内容抜粋）

- ・かぎ預かり事業について
- ・のぼり旗の作成について
- ・今後の取組について

② 小地域ネットワーク活動旭地区推進會

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により地区推進會の事業及び會議等は中止

③ 小地域ネットワーク活動楠地区推進會（2回開催）

（協議内容抜粋）

- ・今後の事業について
- ・各団体からの情報提供など

④ 小地域ネットワーク活動浜地区推進會（6回開催）

（協議内容抜粋）

- ・「在宅医療の勉強會」について
- ・鍵預かり事業について
- ・各団体より連絡事項および課題提案について



(2) 小地域ネットワーク活動地区推進会設置に向けた取組

- ①小地域ネットワーク活動穴師地区推進会準備委員会（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ・婦人会・子ども会・自主防災組織・防犯委員会・穴師小学校）
- ②戎地区4団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
代表者会議
- ③上条地区4団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
合同会議
- ④条南地区4団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
合同会議
- ⑤条東地区4団体（自治会・民生委員児童委員協議会・地区福祉委員会・老人クラブ）
合同会議

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により地区推進会の会議等は中止

(3) 地域のつながりの強化

「どこでもコミュニティ事業」の推進

場所	回数	人数
中央商店街 まちやデッキ	1回	55人
おてんのう会館	1回	37人
西港第1公園	3回	43人
大津神社	1回	86人
個人宅（旭町）	1回	24人
東雲公園	3回	58人
合計	10回	303人

(主な実施内容)

福祉なんでも相談、オープンカフェ、体操、将棋、紙芝居、ポールウォーキングなど



4. 総合的な相談支援・情報提供体制の充実

多くの専門機関との調整を行うとともに、福祉施設や医療機関などの専門機関と身近な相談窓口が連携し、総合的に支援できる体制づくりに取り組みました。

(1) 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた総合相談事業の推進

地域での催しに参画し相談会や研修会を実施

地域包括支援センターが主催・運営し、多職種で構成される地域包括ケアシステム実現に向けた会議 会議の目的 (個別ケースの検討・地域課題の検討)

包括ケア会議 (1回)

権利擁護部会 (6回)

自立支援部会 (個別訪問支援 12回・親会議 2回)

認知症部会 (4回)

5. 防災対策の充実

台風や地震などの災害発生時に対応できる体制を市民と連携しながら強化を図るとともに、市民・団体への意識付けを行いました。

(1) 地域のネットワークづくりに向けた防災の講習会の充実

① 第1回災害ボランティアセンター研修会

〔実施日〕 10/20

〔場 所〕 総合福祉センター3階第一会議室

〔参加者数〕 19名

〔内 容〕 「災害ボランティアセンターについて」



② 第2回災害ボランティアセンター研修会

〔実施日〕 3/1

〔場 所〕 総合福祉センター3階第一会議室

〔参加者数〕 18名

〔内 容〕 「コロナ禍での災害救護活動について」

